

各 位

## Flower Japanービジネスリーダーたちのいけばな展へのご協賛のお願い

2015年より活動を開始しましたFlowerJapanは、いけばなを通じた日本文化発信を目的としております。活動としては、毎年秋に開催する「ビジネスリーダーたちのいけばな展」の企画展をはじめ、さまざまなアプローチからいけばなの魅力を発信して参ります。植物とのコミュニケーションから感性を磨く日本文化の醍醐味と可能性を国内外にむけて発信し、次の世代へと繋いでいきます。

本年もFlowerJapanの理念・活動主旨をご理解いただき、ご協賛・ご協力を頂ければ幸いです。協賛金は、展覧会並びにFlowerJapanの運営資金として、大切に使用させていただきます。皆様のご理解の上、ご賛同ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

なお、Flower Japanービジネスリーダーたちのいけばな展・ご協賛の内容につきましては、下記の通りご案内させていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。

### 記

#### 1. イベント名：

第4回 FlowerJapan2018ービジネスリーダーたちのいけばな展  
場所 代官山ヒルサイドテラス ヒルサイドフォーラム  
日時 2018年11月7日（水）～11日（日）

#### 2. 協賛：

##### A 50,000円

- 公式HP flowerJapan.jp 及び 企画展パンフレットへの掲載  
※掲載が難しい場合はご連絡ください。
- 展覧会招待券：30枚 15,000円分

##### B 100,000円

- 公式HP flowerJapan.jp 及び 企画展パンフレットへの掲載  
※掲載が難しい場合はご連絡ください。
- 展覧会招待券：50枚 25,000円分
- IKEBANA LESSON TICKET 5枚 25,000円分

##### C 200,000円

- 公式HP flowerJapan.jp 及び 企画展パンフレットへの掲載  
※掲載が難しい場合はご連絡ください。
- 展覧会招待券：100枚 50,000円分
- IKEBANA LESSON TICKET 10枚 50,000円分

#### 3. 納入方法：別紙の協賛金申込書に必要事項をご記入の上、FAX・E-mailにてFlower Japan 実行委員会事務局までご送付ください。お申込みいただき指定の銀行口座にお振込みくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

以上

### Flower Japan ボードメンバー

青井 浩	(株式会社丸井グループ)	中原 悦夫	(医療法人社団 協立歯科クリニックデュボワ)
漆 紫穂子	(品川女子学院)	程 近智	(アクセンチュア株式会社)
久保 明彦	(株式会社ウィリアムズ・リー・ジャパン)	山田 邦雄	(ロート製薬株式会社)
田口 義隆	(セイノーホールディングス株式会社)		

FlowerJapan実行委員会 代表 州村 衛香

〒108-0074 東京都港区高輪3-13-1

グランドプリンスホテル新高輪1F IKEBANA ATRIUM内

TEL/FAX 03-3444-8744 E-mail: info@flowerjapan.jp <http://www.flowerjapan.jp/>

# 協賛金申込書

Flower Japan実行委員会  
代表 州村 衛香 宛

Flower Japanの活動趣旨に賛同し下記の通り協賛します。

お申込日	平成          年          月          日
協賛金	円
お振込予定	平成          年          月          日

会社名 / 個人名	
代表者名	
ご担当者名	
TEL・FAX	
E-mail	
ご住所	
その他	

必要事項をご記入の上、Flower Japan実行委員会事務局宛てにてFAX・E-mailのいずれかの方法でご送付ください。

FAX    03-3444-8744          E-mail    info@flowerjapan.jp

お振込み銀行口座

三井住友銀行 経堂支店（店番 5 9 7）  
普通口座    7 0 2 3 5 3 6  
大久保 智世（おおくぼ・ともよ）    ※Flower Japan実行委員代表者氏名

お問合せ

Flower Japan実行委員会事務局    担当：大久保・力丸  
TEL/FAX    03－3444－8744    E-mail： info@flowerjapan.jp  
〒108-0074 東京都港区高輪 3－1 3－1 グランドプリンスホテル新高輪 1 F IKEBANA ATRIUM内

## Flower Japan 趣意書

### 最も身近な日本文化「いけばな」をもう一度日本に、そして世界へ

日本の素晴らしい文化の一つである「いけばな」とは、花をきれいにいけることだけではありません。昔から私たちの生活と共にあり、私たちは「いけばな」から日本人ならではの精神と美を育み、身につけてきました。

多くの家庭に花が飾られ、いけばなから「季節感」や「安らぎ」を感じ、子供達は、生き物がもつ「命の尊さ」や「力強さ」を知り、客人は、家人の「おもてなしの気持ち」に触れることができました。

そして自然に「美意識」「思いやり」「おもてなしの心」「察する気持ち」「こまやかな心使い」等たくさんのこころを根付かせてきました。

このプロジェクトは、日本の素晴らしい文化の一つである「いけばな」を通し、より豊かな日本を作り上げるとい夢を実現していきます。

日本人が日本人であるための資質に溢れた美意識を「いけばな」から学び、もう一度日本に、世界にそして次世代に伝え、より豊かな世界の実現をめざします。

### 日本人の心に寄り添ってきた「いけばな」を次世代へ繋ぐ

豊かな自然と四季に恵まれた日本人の独自の感性、美意識、心を持ち続けるために、いけばなは必要です。最も身近な生活文化でもあり、世界にわかりやすく日本の心を伝えられる文化でもあります。

植物には命があります。いけ手は植物と向き合い、語り合い、対峙する。

床の間に飾られていた様式美の「いけばな」から、現在は、床の間を飛び出し、植物との対話のなかで新たな美が吹き込まれ、多様な空間にあわせた表現もしています。

供える花、祈りでもある花から、見る人を楽しませ、癒し、もてなす花の表現へと変容。

現代アートや空間デザインとして評価を受ける「いけばな」も誕生しています。

“いける”とは、対話であり、創造であり、気遣いであり、そして、自己表現です。

世界に誇れる文化のひとつ「いけばな」が、諸外国に広がる一方で、日本における文化としては縮小に向かっています。

少子高齢化、核家族化により、これまで自然に家庭の中で受け継がれてきた「いけばな」文化は薄れ、「いけばな」を当たり前で親しんできた世代は高齢になり次世代に繋ぐ機会がなく、途切れてしまう心配があります。

「いけばな」によって自然と育まれてきた日本人ならではのアイデンティティや美意識をしっかりと次世代に繋いでいきます。

Flower Japan  
代表 州 村 衛 香